



下堂園
Shimodozono

顛娃町産「ゆたかみどり」は萌芽後 0.5~1 葉期 2013 年新茶情報 No. 1



柔らかい新芽がすくすくと伸びています(顛娃町/ゆたかみどり)

顛娃地区周辺のゆたかみどりの芽伸び状況

当社系列農家のゆたかみどりは、3月5日前後から萌芽が始まり、3月12日現在、中刈茶園で1葉程度、一般茶園で0.5葉くらいの伸育状態です。

芽伸びに影響を与える気象の状況

今年の冬は、全国的に冷え込みが強く、北日本では記録的な積雪に見舞われたところもありました。ここ鹿児島も大雪こそなかったものの、例年のない寒さを経験しました。茶農家さんたちも2月半ばごろまでは「この分では今年の新茶はかなり遅れるのでは……」と語っておりました。ところが、2月末くらいから気温が徐々に上がり始めました。特に3月6日から本日(12日)まで、日中の気温が非常に高く、7日間の平均は21.7℃となりました(3月9日の鹿児島市の最高気温は25.5℃。3月としては例を見ない暑さでした。ちなみに朝の最低気温は12.0℃でした)。こうした陽気のおかげで、山桜や木蓮の花が野山を美しくいろどっています。

顛娃地区周辺のゆたかみどりの摘採時期予測

以上のような茶園状況、気象条件から推測すると、顛娃町産のゆたかみどりの摘採開始は、早いところで4月5日前後、本格的には4月10日くらいになるのではないかと考えられます。

ただし、今後の気象の変化によって、茶芽の伸育は大きく左右されます。精度の高い摘採日予測を行うには、今しばらく気象状況の推移を見ていく必要があります。

※ この資料に使用されている写真は、株式会社下堂園の製品に関する報道・解説を目的とした出版物・WEB媒体のみで、ご利用いただけます。ご希望の方は、下記担当者までご連絡ください。

株式会社下堂園

〒891-0123 鹿児島県鹿児島市卸本町 5-18

TEL 099-268-7281 FAX 099-269-3811 e-mail ocha-no@shimo.co.jp

担当 下堂園 元